

教職員の時間外在校等時間縮減に効果の高い学校の取組状況調査表

市町村名・学校名	龍ヶ崎市・城西中学校
----------	------------

1 時間外在校等時間の状況（教職員の平均値）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
小学校							
中学校	32 : 56	37 : 53	45 : 51	54 : 40	50 : 45	54 : 49	27 : 53

2 学校が主体的に実施する効果が高い取組の概要

【学校業務の削減・縮減に関する取組】

○業務の精選

- ・各学年主任が核となり、教材研究の効率化を図り、個人の業務量削減に努めた。具体的には「道徳授業の展開案を学年スタッフ内で交代で考える。共有する。担任外も授業を交代して行う。」ことをシステム化したことで、担当でなくても他の職員の事務作業を行うなどの協動的な雰囲気も高まってきた。
- ・職員室のホワイトボードを活用して、伝達事項をタイムリーに提示することで打合せや会議回数の削減につながった。また、運営委員会の中で挙げた懸案事項を職員前に学年主任や各担当が適宜調整していることから議事の精選と共通理解が進み、会議の時間削減につながった。
- ・教務主任が職員会議前に資料をPDF化したものを職員共有のPCフォルダ内で各自閲覧できるようにした。ペーパーレス化により印刷製本の時間を削減した。また、職員会議の終了時刻を厳守するように決めている。
- ・全職員が入っているLINE上のグループを活用することで、様々な連絡事項や回覧物を共有できた。また、報告・連絡・相談が円滑になり、業務量削減につながっている。（LINEに関しては、個人情報に関する内容は掲載しない等、全職員が情報管理の理解と管理を徹底した上で活用している。）
- ・人間関係上の不安や心配を抱える生徒への初期対応を市相談員、スクールカウンセラーが丁寧に行い、担任、学年スタッフにつなぐことで生徒指導の効率化が図ることができた。

【教職員の意識改革に関する取組】

○職員会議・経営会議での意識改革

- ・管理職が経営会議、職員会議で働き方改革進捗状況を確認評価し、職員への意識の浸透を図っている。
- ・管理職が時間外勤務45時間を超過してしまった職員と必ず面談し、超過してしまった原因を話しながら改善策を一緒に策定することで、個人の意識を高めることにつながったと考える。

○年休取得や定時退勤を促す風通しの良い職場環境の醸成

- ・校長・教頭・教務主任が日頃から全職員に年休取得と定時退勤を奨励しており、誰もが年休取得と定時退勤しやすい雰囲気の醸成につながっている。
- ・若手教員の業務を学年主任等のベテラン教員が適宜支援することを奨励してきた。この結果、担当ではなくても協働で行う雰囲気が醸成されてきた。風通しの良い職場の雰囲気となってきたことも、個人の業務量削減の一因と考える。

【その他時間外の原因分析・解消に関する取組】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休日の部活動時間が削減したことも一因と考える。
- ・教頭や教務主任が多忙な職員に声かけし、助言するなど業務の軽減に取り組んでいる。